

2010年4月28日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人

子どもアミーゴ西東京

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

親子のふれあい応援プロジェクト「おとうさん、おかあさん、とことん遊ぼう！」

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

集団で遊ぶことのない子どもたちに集団で遊ぶ事の楽しさを知ってもらおう。また日頃、触れ合う時間の取れない親と子どもが遊びを通して新たな関係性を構築する。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

6月 実行委員会設立
7月 実行委員会開催
8月 実行委員会開催
9月 集団あそび事業「だかしや楽校」開催
11月 実行委員会開催
12月 実行委員会開催
2月 講師を招いて、子どもとことん遊び意義について学ぶ 実行委員会で反省会を行う。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

実行委員会を設立し、広報や企画に関わってもらいました。その結果、市や西東京市学童クラブ連絡協議会等の後援を取り、市内の子育て団体に参加してもらえました。
広報を早くから行ったため、会場近くの親子多数に参加してもらえました。
講演会はそれだけでは多くの人に参加してもらえないとの判断で、就学前の保護者の相談コーナーを設けるなど工夫をしました。保護者だけでなく保育士や学童クラブ指導員も多数参加してもらい、学習の場を提供できました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今年は実行委員会をきちんと開催して企画から広報、運営まであたってもらったため、多くの人に参加してもらえました。特に体験型イベントの「だかしや楽校」には300名を越す人の参加があり、にぎやかに行われました。また、市内の子育て団体も多く参加してもらって、地域でのつながりができました。
講演会は単独では集客できないので、これから小学校に入る保護者を対象にした子育て相談も同時に行いました。予定よりは少ない参加者でしたが、講師の方にはすばらしいお話を聞き、参加した方は満足してもらえました。
反省会では広報の仕方などに工夫が必要との意見があり、来年以降につながりました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

集団あそび事業「だがしや楽校学校」



講演会「親子でとことん遊ぼう！」

